

飯島 美世子

経歴：職域保健・産業看護塾主宰、東京工科大学産業看護実践研究センター客員教授、健保組合顧問

昭和 41 年に企業の衛生管理者として就職し、従業員の健康診断や環境測定、作業環境改善等の労働衛生管理に携わりました。その後、製造業の健康管理業務に非常勤で勤務したのち、バス・鉄道輸送業の企業の健康管理に従事。平成 4 年からは健康保険組合連合会保健部保健師業務室長として、健保組合の保健事業に携わる常務理事や事務長、保健師等の研修、相談、調査研究等に従事してきました。

現在は、講演活動や執筆活動を通じて労働衛生と健保組合の保健事業や健康教育・保健指導のあり方を追求しています。

利用者へのメッセージ：平成 20 年から、生活習慣の行動変容を目指した特定健診・特定保健指導の実施が公的医療保険者に義務付けられました。まさに、一次予防の視点から職場での健康行動のみならず生活習慣を的確に把握した上での支援が求められたのです。この機会に、従来手が及ばなかった検査に異常の見られない従業員に対しても、保健指導等の支援を広げるとともに、健康支援環境を整備し、ヘルシーカンパニーを目指したいものです。企業と健保組合での経験を生かして相談業務や研修に取り組んでまいります。

最近の主な著書：

企業・健康保険組合の職域保健・産業看護活動集（共著、2005年4月・(株)社会保険研究所）
保健事業計画策定の視点（へるすあっぷ21、2007年4月から1年間連載、株式会社法研）
産業精神保健マニュアル（共著、日本産業精神保健学会編、「II産業精神保健の実際 10業種・職種による特性 派遣・パート労働者」2007年7月10日、中山書店）
雇用形態多様化と労働者の健康（共著、2008年6月・財団法人労働科学研究所出版局）
保健事業の羅針盤～基礎からたどるヘルスサポート～（健康保険、2009年4月から1年間連載、健康保険組合連合会）
メタボリックシンドロームの予防と対策 ―特定健診・特定保健指導の課題と提言―
（編集・共著、2009年11月、NPO法人日本健康教育士養成機構編、保健同人社発行）
復職支援 産業領域におけるメンタルヘルス対策の動向（保健師ジャーナル、2010年2月、第66巻2号、90～94、医学書院）
健康改善手引き ～自動車運転業務従事者のために～（共著、2010年9月発行予定、中央労働災害防止協会）

賞罰：2000年5月 第2回土屋健三郎記念・産業医学推進賞受賞（健康開発科学研究会）